



世田谷区手話言語条例 制定に向けたワークショップ 「目でみて伝えあおう！」

全身をつかってろう者の感覚を学び、手話を体験するワークショップ形式の講座です。ミニレクチャーやコミュニケーション・ワークショップを通して、参加者が目でみる言語である手話やろう文化と出会い、知り、体験し、理解を深めることを目指します。

講師

河合祐三子（俳優／手話・非言語ワークショップ講師）

場所

梅丘パークホール

実施日

- ① 6月14日（水）18:30～20:30
- ② 6月15日（木）18:30～20:30

（両日共に受付開始は18時から。実施内容は同じです。）

参加費

無料

定員

各回20名（要事前申込）

申込方法

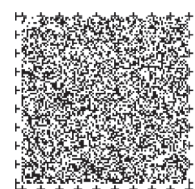
電話・FAX・ハガキ・お問合せフォーム

締切

2023年6月5日（月）



主催：世田谷区 担当：世田谷区障害福祉部障害施策推進課
協力：NPO法人世田谷区聴覚障害者協会



音声コード Uni-Voice

世田谷区では、「手話言語条例」の制定に向けた取り組みとして、「言語としての手話」への社会認知や理解促進を目指して、体験型・ワークショップ形式の手話講座を開催します。ミニレクチャー「手話ってなんだろう?」やボールやイラストなどをつかったコミュニケーション・ワークショップを通して、ろう者の感覚を知り、学びながら、目でみる言語である手話やろう文化を体感してみませんか? ぜひ、ご参加ください。

※本講座では、手話言語に関する条例の制定に向けた検討をおこなうにあたり、区民のみなさまのご意見などを募集するためのアンケートも実施いたします。

講師プロフィール

河合祐三子（俳優／手話・非言語ワークショップ講師）

北海道札幌市出身。地元の劇団『舞夢』を経て、1988年に社会福祉法人トット基金『日本ろう者劇団』に入団。手話狂言や手話による台詞劇など数々の演目に出演し、2016年退団。現在フリーランスの俳優として様々な舞台などに出演。手話教師、ろう子どもの演劇ワークショップ、非言語ワークショップなど全国的に活動を広げている。2023年4月、メアリーとマリーの2人組ユニット「てことば・てかなで・てあそび Duo メリマリ」を結成。サインポエム、手話遊び、Dオンガク(ろうリズム)、VV(ビジュアルバーナキュラー)表現などを披露。



場所

梅丘パークホール

〒156-0043 東京都世田谷区松原6丁目4-1

電車：小田急小田原線 梅ヶ丘駅下車 徒歩1分

バス：小田急バス 梅ヶ丘駅下車 徒歩1分

系統 渋54（渋谷駅－経堂駅）

※駐車場がありませんので、電車・バスをご利用ください。



参加申込先

せたがやコール 受付時間 8:00～21:00（年中無休）

電話：03-5432-3333 FAX：03-5432-3100

参加申込時に、以下①～⑦を伝えて（記入して）ください。

- ① 行事名：ワークショップ「目でみて伝えあおう!」
- ② 参加希望日：6月14日 または 6月15日
- ③ 氏名 ④ 年齢 ⑤ 住所 ⑥ 電話番号 または FAX
- ⑦ 配慮が必要な場合の内容
（例：車椅子を使用／文字通訳が必要／盲導犬の同伴など）

ハガキの場合は、同じ内容を下記宛に郵送してください。

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

世田谷区障害施策推進課 宛

お問合せ：世田谷区 障害福祉部 障害施策推進課

お問い合わせフォーム →



www.setagaya-call.jp/faq/query.asp

必要事項を記入の上、件名欄に『ワークショップ「目でみて伝えあおう!」』を入力後、内容欄に下記の①～④項目を入力してください。

- ① 参加希望日：6月14日 または 6月15日
- ② 年齢 ③ 電話番号 または FAX
- ④ 配慮が必要な場合の内容

締切：2023年6月5日（月）※ハガキは消印有効

※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。
また結果は郵送でお知らせいたします。